



中で初めての取り組みです。大学も時代と共に変化し、総合大学になっていくようにしているのですね。

**学長** 本学で学んだ後、社会でどんな職に就くのかを考えたとき、学生達、親御さんも含めていろんなニーズがあります。それに合った学部学科をラインアップし、社会に貢献できる人材を育成していくと考えています。また女子学生にもっと来てもらいたいということ

ともあり、社会学系の学部を増やしました。**脇田同窓会副会長(以下脇田)** 年によって

人気の学部がありますよね。不況の時は理系学部が人気で、今はまた経済学部や法学部の人気に戻ってきています。

**小川** 瀬戸キャンパスのスポーツ健康学部とリハビリテーション学部の人気が大変高いそうですね。

**学長** リハビリテーション学部の場合、国家資格の理学療法士の資格を取得出来ることもあり、就職率は100%と抜群です。スポーツ健康学部もここ数年の就職内定率はほぼ100%。それが人気の理由でもあるのでしようね。スポーツをしている学生の特性でしょうか、瀬戸の学生はみんな元気で明るく礼儀正しいと感じます。

## 地域に根ざし、貢献する 大学を目指して

次に、18歳人口が減り始める「2018年間」についてお考えをお聞かせください。

**学長** 現在18歳人口は約120万人ですが、2018年から毎年減り続けて2031年には約100万人になると言われています。10年で18歳人口が2割減る、驚きますよね。これは大学だけでなく世の中全体を変える深刻な問題です。この厳しい時代において、選ばれるためにはどうするか。社会に求められる人材を育成し、「この大学に入ったら必ず就職できる」という就職支援をしっかりと行うことだと思います。

おかげさまでこの3月の卒業生の就職内定率は99%。県内でナンバー1の大学になりました。これからもしっかりと学生を育て、就職につながる大学として認知していただくこと、そういう努力を続けていくことが大切だと考えております。

本学ならではの教育の特徴や魅力についてお聞かせください。

**学長** 本学の強みのひとつに国際性があり、提携する海外84大学の留学が可能です。もともと本学はミッション系の大学ということもあり、グローバル意識を高く持つということは引き続き大切にしていきたいですね。

**小川** 年間でどれくらいの方が留学するのでしょうか？

**学長** 今、年間で300人ほどでしょう。2週間という短期間から半年、1年という長期まで学生達はさまざまな国での留学を経験しています。現在取り組んでいる「地(知)の拠点整備事業(大学COO事業)」について教えてくださいませんか。

**学長** これは2013年から始まったもので、自治体と提携し地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を国が支援するというプログラムです。文部科学省の厳しい選定

基準をクリアした全国50校、愛知県では本学を含め2校が選ばれました。地域に根ざした大学、地域に貢献できる大学を目指すもので、名古屋、瀬戸市と連携して取り組んでいます。PBL(課題解決型学習)として、大学としては地域を教材とし、地域に学生達を育ててもらおうスタイルでしょうか。学生がいろんな人と関わり、現場を見ることで問題を発見し解決していく、そういうトレーニングの場所にもなっています。

**脇田** もともと瀬戸でまちづくりをテーマに活動していますよね。

**学長** 大学としてすでに2000年頃から瀬戸市で、まちづくりをはじめ地域貢献活動に取り組んでいます。先ほどの事業についても、これまでの活動の延長線、さらに深めてやっていくというプロジェクトを組みました。

**脇田** 熱田区でも地域の若者がそのまま名古屋学院大学に進学してくれるような、そういう地域づくりを行っていくといいかもかもしれませんね。

**学長** それはいいですね！現在熱田区に大学は本学しかありません。区長さんはじめ地元の方々の方は、本学を熱田区のシンクタンクだと思ってくださっているようです(笑)。

**同** それは素晴らしい！  
今、現役学生のクラブ活動が活躍しています。どうぞ、ご覧になっていますか。

**小川** 体育会系の活躍が目覚ましいです。大学にも力を入れて頂き、スポーツに秀でた学生が集まっています。

**学長** 大学として、監督やコーチを外部から招聘したり、強化クラブ指定を行うなどいくつかのスポーツ部のサポートを行っています。現在、硬式野球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、ラグビー部、サッカー部、

女子バレーボール部、馬術部の7部が強化指定クラブです。最近では、馬術部が中日本馬術大会の障害競技で1位になり、男子バスケットボール部から東海選抜メンバーに1名選ばれたり、女子バスケットボール部も東海選抜メンバーに2名選ばれ、女子バレーボール部のメンバーが全日本ビーチバレー大会に出場するなど、好成績を取っています。

**脇田** 母校の後輩達の活躍は、OBとして大変嬉しい限りです。毎年同窓会から優良クラブを表彰するのですが、今年は選ぶのに苦労しそうです(笑)。

**小川** そうですね。大変楽しみです！  
最後に、現役学生に望むことを教えてください。

**学長** 大学の4年間は自由時間が多いので、何かひとつの目標や目的を持って入ってきてほしい。大学には人が成長する仕掛けがいっぱいあります。留学だったり、ボランティアだったり、サークルだったり。ただし自分から何かを見つけてという意識がないと、その仕掛けやきっかけを通り過ぎてしまいます。4年間の間にこれをしたという強い思いを持ち、積み上げてきたものが形として見えるように過ごすことは、人格形成や就職活動につながると思います。

**小川** 我々同窓会としては、同窓会の情報卒業生の方達に出来るだけ伝えたいと考えています。卒業して同窓生のことを知ることが出来るのは、同窓会会報だけです。住所の変更届などきちんとやっていたら、お願い致します。

**脇田** 学生の方もいずれは同窓会に入ることになります。卒業前でも、機会があれば同窓会を有利に使っていただければと思います。

本日はお忙しいなか、ありがとうございました。  
司会進行…伊藤広報委員長